

みかみ修 初当選後2年間の仕事の記録



2020年1月初当選



F須和間団地内信号機設置推進



通学路整備推進(通年)



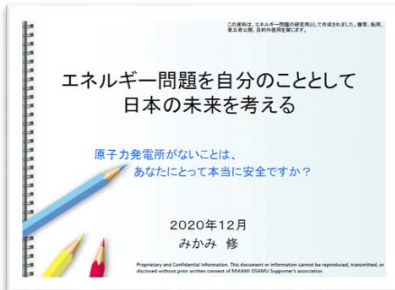
南台団地内火災現場臨場



空家の除草作業(2軒)



空家の更地化・住替え推進
(6軒)



エネルギー問題の出前講座
村松北他村内・近隣市等9回実施



コロナワクチン接種予約支援
115軒ー83名予約完了



住宅地避難道路の新設推進
(村道0103号線接続道路)

引き続き取り組み中の主な課題



通学路の安全確保



須和間霊園内の共同慰霊堂設置
(写真はイメージです)



買物難民対策・小売店誘致活動

馥郁としたコーヒーの香りで、ゆったりした時間が流れる名店

J R 東海駅西側、有名なうどん屋さんの向かいにある喫茶店「茶房 Okano」、この店舗以前はたしか薬局だったのでしょうか。お奨めは日替わりのランチですが、無論本業の馥郁としたコーヒーは素晴らしく、精緻なBGMが流れるゆったりした安らぎのひと時をお過ごしいただけます。パーティや宴会も得意です。友人、家族、会社の仲間、色々なシーンで、Okano (岡野) にお立ち寄りください。

茶房 Okano ☎ 029-282-2211 休日:木曜日



この村政報告書は、営利や勧誘を目的としたチラシやダイレクトメールではありません。

みなみ風 Minamikaze Vol. 6

東海村議会議員 みかみ修後援会村政報告 2022年春号

☎ : 090-1837-3989 e-mail: mikami_osamu@nifty.ne.jp



大洗海岸の初日の出

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと存じます。東海村議会議員の初当選を果たして早くも3年目を迎えました。今年は「千里を走る」寅年東海村の発展のために、引き続き擦り減らして村内を巡り課題の解決に向け全力で取り組んで参ります。

皆様のご多幸とご安寧を心からお祈り致します。令和4年春 みかみ 修

令和3年12月定例議会(本会議)で決まった主な内容

- ・18歳以下の村民に現金10万円の一括給付を可決
新型コロナウイルス感染症の経済対策の一環として、18歳以下の村民に対して現金10万円を一括給付する議案を可決しました。一方で、**所得制限により給付されない家庭**もありましたので、今後の一般質問で東海村の考え方を明らかにして参ります。
- ・福祉事業の対応部門を総合福祉センター絆内で一括対応
東海村福祉部(役場庁舎内)、地域包括支援センター(なごみ)等の**福祉相談窓口を一括して総合福祉センター絆内に設け**、福祉サービスの向上をはかる取組みが始まります。**「どこに行って相談したらいい??」という課題を解決**します。



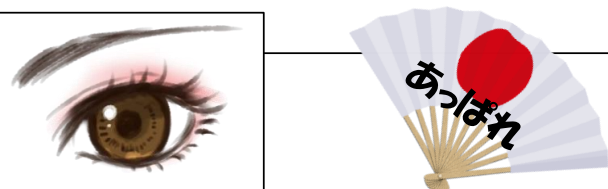
みかみ修の議会一般質問

皆様の議会傍聴を心からお待ちしております!

- ・広域避難計画策定前の課題と対策 (東海村議会だより47号「村政を問う」に掲載)
東海村は原子力発電所の立地地域ですが、広域避難計画が策定されていません。**原子力発電に賛成でも反対でも、広域避難計画は必要と考えるのが一般的**。計画が策定されるまでの空白期間の有事に、どのように対応することが決められているのかについて確認しました。
- ・村事業の委託業務のあり方
村の事業は多岐に亘り、専門性の高い仕事も多いことから、民間のパワーを活用して住民サービスを展開することが望ましいが、どのような基準で外部委託しているのか今回確認し、以降は大口委託事業について引き続き確認して参ります。
- ・村内施設の利用料減免と用途拡大
公共の利益に資する活動団体に対して、村内公共施設の利用料減免を求めるとともに、**住宅地付近の公園を買い物難民対策の移動販売拠点に利用できるよう**求めました。法律で定められた公園の用途制限は、今後柔軟な対応がなされます。



みかみ修はマスクとペーパーレスのタブレットで一般質問

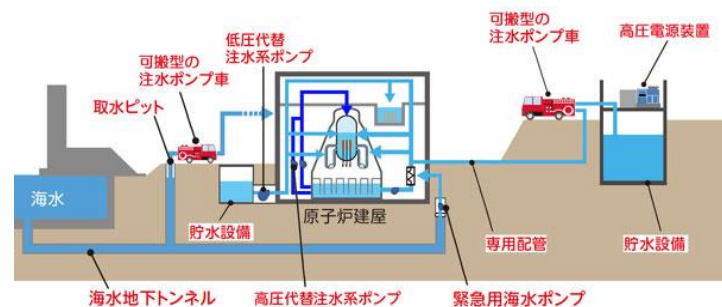


第4回 日本原電東海第二は、日本一の技術者が結集する発電所

東日本大震災の津波被害により、東京電力の福島第一発電所で発生した事故から丸11年が過ぎようとしています。この事故は一般市民はもとより、私を含む電力技術者に大きな衝撃を与えて、今も鮮明な記憶となって甦って参ります。福島では地震の発生後15m程の津波が襲来、運転中の1号機、2号機及び3号機は冠水して炉心の冷却水を失った結果、大参事となりました。丁度この頃、**東海第二発電所にも5m強の津波が襲来**しましたが、**茨城県が日本原電に指導した海水ポンプの冠水対策工事が2010年までに完了**しており、3台中**2台の海水ポンプは見事に起動**、十分な訓練を重ねて来た同社の社員の連携により難を逃れました。この茨城県と日本原電の素晴らしい仕事振りは、残念ながらあまり知られていませんが、**今後東海第二の再稼働を判断するとき、何故、福島第一発電所が被災し、東海第二発電所が津波の難を免れて住民を守ることが出来たのかを客観的に理解しておく必要がある**と考えます。色々な要因が考えられますが、日本原子力発電は、その名の通り原子力発電の専門会社で原子力発電を知り尽くしたパイオニア、課題に対応した訓練を日々十分に積み重ねていたことが、東日本大震災の対応状況から明らかです。

私は東海第二発電所に再稼働に対して、長きに亘る本村住民の単なる賛成・反対の感情論を超えて、**私たちや子孫が20年後、50年後、そして100年先の未来にどのような地球で、どのような生活をしたいのか**という観点で議論が闊達になされることを公約として東海村

議会議員に立候補しました。このお束を達成するべく、「エネルギーを考えることは日本と地球の未来を考えること」と位置付けて、引き続き本村のエネルギー問題の議論醸成に取り組んで参ります。



多重化された東海第二の冷却システム
(日本原子力発電HPより)



【寄稿】 みかみ修って、どんな人？ その2

先号に、みかみ修ってどんな人？ という寄稿がありました。みかみ修という人間性を的確に表白しており、私もこれに誘発されてパソコンのキーを叩いた次第です。

政治家に求められる資質には、人格識見をはじめとして色々ありますが、私は論理的思考と時代の先を読む力について触れてみます。三上議員は、電力系統（ネットワーク）技術者として、顧客が求める機能を満足させるためにシステムを構成する他部門との調整も重要、そこには気配り・心配りも大事、これを可能とするのが製品知識とシステムについての見識がベースにあります。あるべき姿を探求し、その方向性を提示する能力も併せて必要とされます。この一連の動きは議員活動にも遺憾なく活かされており、ファクトファインディング（課題の真実を見つけ出す）を遂行するために、現状を認識して問題点を見つけて対処策を考え、方向性を見出した質問と提言が議会質問でもなされており、評価に値します。東海村は原子力発祥の地として発展して来ました。それだけに原子力をはじめとするエネルギーや科学技術など国との関わり合いが深く、東海村の将来のあるべき姿を提言出来る議員の存在が重要、その先陣を切るのが三上議員です。（お）



一般質問追加解説：なぜ東海村は、広域避難計画が完成していないのか

東海村は原子力施設の立地地域として発展して来た街です。私が尊敬するある方は、「東海村は嘗て農業依存の寒村、原子力があったからこそ今のような立派な街になった」と嬉しそうに話します。その立派な原子力の代名詞的自治体が、なぜ未だ広域避難計画が策定されていないかと考えるとき、色々な課題が見えて参ります。

皆がその恩恵を受けて来た受益者なのに広域避難計画もない、原子力に対する住民の理解もいまひとつ進んでいないように見えるのは実に不可思議。その一方で、人材総合サービス会社の「2021年住み続けたい街ランキング」で、東海村は見事茨城県で第1位の栄冠に輝きました。今年村は「選ばれる街」として様々な移住受け入れ促進の事業を展開します。他方では、依然村内には不名誉な看板が掲げられ、恰も村民の声を代表するかの如き紙が出回る状況が散見されまして、多様な意見は敬意を以って聴取されるべきでもあります。課題の解決に向けて精力的に取り組んで参ります。

元駐在員が教える台湾の名店・名所 其の4

台北松江路 行天宮関帝廟前の占い横丁

今から30年以上も前、みかみ修若干27歳は、日立が提携する台湾の電力設備企業に技術移転のため駐在し以来、年に1度は占いにしかけておりました。

この関帝廟は台北の観光スポットでもあり、善男善女が日々祈りを捧げるパワースポットです。過去の占いでは「あなたは火と水に関係がある仕事がいい」とのお告げで、某火力会社で設計や海外担当は、自分の仕事に合っていると勝手に思っておりました。

ところが、私自身も選挙に出馬することを未だ知らない2019年末、いつもの「奉天承運堂」の呉天從先生を訪ねましたところ、「あなたは政治家がいい」とのお言葉。私が何度もこのブースを訪れる常連客にて、先生のゴマスリかと思っていました。



2020年に議員初当選後、一緒に占いに outward した方から「政治家、あの占い当たりましたね！」と。占いの結果を忘れていた私は青春の1ページを作った台湾の懐の深さに暫し思いを馳せて。

台北には近くて便利な茨城空港から

台湾初のLCC タイガー航空で！ 台湾の信頼の翼 中華航空グループ



行天宮前の地下道にある占い横丁

東海村民のレベルの高さを示した「原子力問題自分こと化会議」

昨年12月から5回に亘って開催された、原発問題を自分のこととして考える「自分こと化会議」、原発賛成・反対の議論を超えて無作為に選ばれた26名の村民が原発問題で熱心に意見を交しました。私は5回全ての会議を傍聴させていただきました。

東日本大震災の津波により事故に至った福島第一発電所の災難以来、原発問題の議論が難しくなって状況下の住民意向把握、どのような議論が展開されるのか注目していましたが、「東海村の住民は実にスマート、しっかりした主張でしかも温かい。」とつくづく感じました。



第5回東海村自分こと化会議
写真提供：ラッキーFM

地元で原発を持ちながらも、日本の資源の乏しさや将来の財政、雇用、環境問題などに着目して冷静に議論できる素晴らしい住民。大変誇らしく、また、嬉しい気持ちで会場を後に。最後の会議は15名の出席でしたが、会議メンバーの皆様、1年間大変お疲れ様でした。皆様の貴重なご意見は、必ず村政に反映いたします。